

平成 28 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

総合学科として数多くの社会との接点を取りながら、豊かな心を持ち、自らの生き方を考えて各自の「夢」の実現に向けてチャレンジする主体的な生徒を育てるとともに、希望する多様な進路を実現できる確かな学力が身につく「進学重視の総合学科」をめざす。

- 1 多様な進路を支える教育活動を展開する
- 2 ともに学び、ともに育つ心を培う教育活動を展開する
- 3 自ら将来の夢を描き、それを実現できる生徒を育成する。

2 中期的目標

1 確かな学力の育成

(1) 授業の充実（「授業内容に興味・関心をもつことができる授業」「授業を受けて、知識や技能が身に付いたと感じる授業」を行う）

ア 授業研究協議や生徒の「授業アンケート」を効果的に活用するとともに、教員間における授業見学を行い授業改善に取り組む。

※生徒の「授業アンケート」における『興味・関心を持つことができた』『知識技能が身に付いた』等の肯定的な評価の割合（平成 26 年度 78.8%、80・2%）を平成 28 年度には共に 85%以上にする。

(2) 自らの意見をまとめ、発表して、相手に自分の意思を伝える能力の向上

※生徒の「総合学科アンケート」における『コミュニケーション能力が身についた』（平成 26 年度 73%）を平成 28 年度には 80%にする。

(3) 自ら学ぶ意欲・姿勢の定着

ア 自主的な学習態度が身につく取組みを行う。

※生徒の「学校教育自己診断」における『学習に頑張ってきた』（平成 26 年度 1 年 55%、2 年 77%、3 年 82%）を平成 28 年度には全学年 80%以上にする。

イ 学校行事を通して自主・自立性を育てる。

※生徒の「総合学科アンケート」における『自主性を伸ばすことが出来た』（平成 26 年度 76%）を平成 28 年度には 85%にする。

(4) 基礎学力の定着

ア 「学力生活実態調査」のリトライ指導を徹底し、「堺東スタンダードテスト」を継続する。

※「学力生活実態調査」における 1, 2 年生の G T Z を共に B 2 にする。

※センター試験出願者（平成 26 年度 72 名）を平成 28 年度には 100 名超にする。

(5) 政治的教養をはぐくむ

ア 各学年において政治的教養をはぐくむ教育を実施する

2 安全で安心な学校づくり

(1) 人権教育の推進（生徒一人ひとりがそれぞれの個性を尊重しあう集団づくりを行い、人権を尊重する学校づくりを行う）

ア 自立支援コースの充実を図り、「ともに学び、ともに育つ」学校づくりを推進する。

イ 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に基づいた指導を行う。

ウ いじめの早期発見・対応、体罰防止など、生徒一人ひとりの人権を尊重する学校づくりを推進する。

(2) 教員の人権意識の高揚

ア 校内人権研修を一層充実する。

※教員の「学校教育自己診断」における『人権尊重に努めている』（平成 26 年度 83%）を平成 28 年度には 90%にする。

(3) 生徒の規範意識の醸成

ア インターネット等による人権侵害の防止や交通マナーの遵守する指導を徹底する。

※生徒の「学校教育自己診断」における『生活指導上のルールを守っている』（平成 26 年度 92%）を平成 28 年度には 95%にする。

3 夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成

(1) キャリア教育の充実

ア 「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」「志学」「ホームルーム」の四つを通じてキャリア教育を充実する。

※生徒の「学校教育自己診断」の『進路を考える上で、適切なアドバイスがあった』（2, 3 年生）及び『将来の進路や生き方について考える機会を与えてくれた』（1 年生）における否定的な回答（平成 26 年度 1 年 9%、2 年 16%、3 年 18%）を平成 29 年度にはゼロする。

(2) 部活動の充実と学校行事への積極的な参加

ア 部活動を一層活性化し、生徒の入部率を上げる。

※部活動入部率（平成 28 年度 76%）を平成 28 年度には 80%にする。

イ 学校行事への満足度を高める。

※「体育祭」「文化祭」の満足度（平成 27 年度は「95%」「92%」）を平成 28 年度には共に 95%にする。

(3) 生徒の対外活動の活性化と地域連携

ア 本校総合学科の特徴である「堺学」を通じて地域と交流を図る。

イ 部活動や授業において、地域の行事やボランティア活動に積極的に参加する。

4 開かれた学校づくりの推進と情報の発信

(1) ホームページの充実

※ ホームページの年間アクセス数（平成 27 年度は 82,000 件）を平成 28 年度は 85,000 件にする

(2) 学校説明会の充実

※ 7 月と 11 月の 2 回オープンスクール参加者計数（平成 26 年度は 1,035 名）を平成 28 年度には 1,100 名超にする

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 29 年 1 月実施分]	学校協議会からの意見
<p>※3年次生は1月19日、2年次生は1月12日に、2年次生は1月28日にアンケートを実施しました。教員と保護者については1月22日までにアンケート実施しました。(ここに示す%は肯定率を表す)。</p> <p>【学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒は授業について81%(1年88%、2年85%、3年71%)が「難しい」と評価し、「授業の教え方を工夫している教員が多い」という評価は88%(1年74%、2年93%、3年96%)であった。今後も教員のより多くの授業改善への取組みが必要である。 保護者アンケートの「子どもは授業が分かりやすく楽しいといっている(昨年:わかりやすいと言っている)」の評価は、設問の変更の影響か昨年度より13%ダウンの62%であった。これについては、さらに教え方の工夫と進捗・内容の検討が必要である。 本校のキレガ'ダンスについては保護者の86%、教員の83%、生徒の83%が適切であると高い評価を得ている。総合学科としての全体の取組みや生徒への働きかけをさらに強化したい。 選択科目について、保護者の85%、教員の87%、生徒の82%が、生徒の興味関心に応えている、期待通りであったと評価している。さらに進路に繋がる魅力的な選択科目の実施をめざしていきたい。 <p>【生徒指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校生活に対する意識については生徒の73%(昨年75%)が「行くのが楽しい」と自己評価している。また保護者の79%(昨年87%)が「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている(昨年:楽しいと言っている)」と設問の変更の影響か、いずれも昨年を下回った。今後、より安全で安心な学校づくりの取組みを強化していきたい。 保護者は本校の生徒指導に82%が肯定的であった。生徒の「自分は生徒指導上のルールを守っている」の問いでは、92%と非常に高い自己評価を得ている。実際、真面目な生徒が多く、この状態を次年度も持続していきたい。また、「人権教育・道徳学習の機会と内容」については生徒の84%、保護者の84%、教員の92%が肯定的に捉えており昨年度とほぼ横ばいである。いじめ、体罰等の人権侵害のない学校を今後も継続していきたい。 <p>【学校運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年生は90%が総合学科を選んできたことと評価し、83%が「自分で考える力・自主性を伸ばせた」、79%が「コミュニケーション能力が身についた」と評価している。昨年度とほぼ横ばいである。今後も、総合学科の特色を活かし社会に貢献する生徒の育成に励みたい。 文化祭や体育祭等の学校行事について保護者は85%(昨年92%)が活発であると評価し、生徒の翌日の生徒会アンケートでは文化祭に91%、体育祭に95%が満足していると答えており、例年とほぼ横ばいであった。今後も生徒の自主性を尊重した学校行事の充実を図ってきたい。 教育相談については、生徒の「担任の先生以外に相談できる先生がいる」は4%アップしたものの43%と、毎年低い数値になっている。これは面談等でその分を担任が親身になって相談にのっているためかと考えられる。相談(教育、キャリア、健康)体制について、今年度は相談委員会の教員が交替で常駐する体制に改善したが、来室生徒数は少なかった。 教員の「PTA活動への参加している」が16%アップの48%であった。次年度も教職員への参加啓発や校内でできるPTA活動の企画や行事の内容を検討すれば参加できる教員も増えると思われる。 教員の「仕事の引継ぎがスムーズに行われて継続性がある」については5%アップの53%であった。これに対しては、年度替わりの各分掌、各学年、各委員会からのPDCAの徹底を図る。次年度の課題に向けての対応の仕方や、課題解決方法などを引継ぎ、一人ひとりが組織人として共有理解を深めていく必要がある。特に主任や長が変わる場合は必ずペーパーやデータファイルで引き継ぎ円滑に運営が行われるようにすることが必要である。 教員の「職員会議等が意思疎通や意見交換の場として有効に機能している」については8%アップの54%であった。職員会議については、あらかじめ企画委員会で協議内容の論点の整理を十分に行い意見交換も行われた結果なのでそう思うと思う。今年度は1月に「大学入試改革」をテーマに研究協議形式の研修会を実施したところ、活発な討議がなされた。来年度は、職員会議以外にも研究協議形式の研修会を複数回実施する方向を全教職員で確認した。より活発な意見交換ができる環境づくりを行う必要性があると考える。 <p>【情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学校は教育情報について知らせる。」については、生徒は、1年81%、2年86%、3年93%、全体87%の肯定率である。教員は80%であるが、保護者は75%の肯定率であり、若干の差が見られ、今後更なる情報提供の充実に向けての更なる取組みが必要である。 <p>【環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学校の施設・設備に満足している」については、生徒59%、保護者74%、教員62%であった。自由記述では、トイレ改修、部活中の冷房使用などの意見が出た。 	<p>○平成28年度 第1回学校協議会を平成28年7月21日に開催した。議事内容は「今年度の学校経営計画と取組み」、「各分掌・学年・委員会より現状報告と今年度の取組み」についてであった。更にベネッセの今井氏による講演「現3年生の学力推移とこれからの指導」について意見交換を行った。その中で委員から「平成30年度以降の大学入試改革とはどのようなものか?」という質問が出され、「新たに導入される新テストを活用する私大への対策、複数の教科を融合したような科目の指導、発表などのプレゼンの活用への対応、外国語の外部検定のスコアの活用を視野に入れた啓蒙活動・・・」といった助言や宿題をいただいた。また、保護者や生徒から求められた合理的配慮の具体例への助言と、さらには周囲の生徒への周知が大切であるとの指摘をいただいた。人権教育では、「最近の社会では権利ばかり主張する傾向がみられるが、果たすべき役割・義務・責任についての自覚の育成・啓発が重要である」との指摘もいただいた。</p> <p>○平成28年度 第2回学校協議会を平成28年12月5日に開催した。議事内容は「各学年・各分掌からの現状報告と今年度の取組みの中間報告」であった。最後に前回の協議会で話題となった大学入試改革について、ベネッセの今井氏による講演「今後の大学入試改革の方向性」について意見交換を行った。各学年等からの報告と進路指導部からの報告「進路状況の中間報告と今後の課題について」というテーマで研究協議を行った。委員より「文化祭・体育祭の満足度がともに90%を超えている点はすばらしい。運営面で教員はどう関わっているのか?」との質問に、「堺東の良き伝統でもある生徒会実行委員が主体となって企画・運営しており、担任・顧問はあくまでもアドバイザー兼サポート役である。」との説明があった。「今後も継承してほしい」との提言をいただいた。また、「進路=進学」が全てではないこと、「グローバル=英語活用」ではないことなど、厳しい指摘もいただいた。</p> <p>○平成28年度 第3回学校協議会を平成29年2月24日に開催した。議事内容は「今年度の学校経営計画と取組み」、「各分掌・学年・委員会の今年度の取組み」の最終報告と「学校教育自己診断アンケート」の結果報告についてであった。協議委員(PTA)からは「安全で安心な学校づくり」の更なるアンケート活用などに指摘いただくとともに、とくに一年生で「学校が楽しい」が下降、「授業が難しい」が上昇しており、「基礎学力向上」に向けたプラン充実(学力実態調査の事前・事後学習の徹底、本校独自のスタンダードテストの実施と分析、外部模試の活用、一日勉強会3回実施、勉強会2回実施等)の反面、生徒の学力・意識とのずれの解消の必要性について助言いただいた。協議委員(同窓会長)からは「部活動の活性化」について、部員不足のクラブの存在やノークラブデーの課題に指摘いただくとともに、「障がい者差別解消法」に伴い、自立支援コース生徒以外にも配慮を必要とする生徒について、行政や医療・福祉などの外部との連携の促進への助言をいただいた。協議委員(中学校長)からは、「堺東高校の印象」について、総合学科の魅力が中学生や保護者に伝わっていないこと、女子制服の人気度の低さについて指摘いただくとともに、クラスのまとまり、総合学科のあり方、キャリア教育の充実、大学は基よりその他の進路先での自己実現度のアピールなどの多数の助言をいただいた。</p>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">確かな学力の育成</p>	(1) 授業の充実	<p>(1) ア 教員相互の授業公開、管理職の授業観察、研究協議等を通じて授業力を向上させる</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業公開週間を設け教員相互が授業見学を行う 管理職が授業改善に係る指導助言を行う 教員自ら授業アンケート結果を検証し、授業改善を積極的に行う <p>イ 高大連携やインターンシップを充実させる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教員の授業見学や研究協議への参加率 90% < H27-80% > 生徒の授業アンケートでの(問8)「授業内容に興味・関心を持った」、(問9)「授業を受けて知識や技能が身に付いた」の満足度 85% < H27- (問8) 81.7% (問9) 85.1% > 医療系大学の高大連携講座参加者 15名 < H27-11名 > 総合学科アンケートでの「自己表現や他者理解などのコミュニケーション能力が身についた」85% < H27-80% > プレゼンを取り入れた授業を全ての教科で行う 総合学科アンケートでの「自分で考える力や自主性を伸ばすことができた」85% < H27-83% > 「進学合宿」「勉強合宿」への参加者が共に50名 < H27-「進学」19名「勉強」37名 > 生徒の「学校教育自己診断」での『学習にがんばってきた』全学年80% < H27-1年51%、2年76%、3年87% > 1年2年共に第2回「学力生活実態調査」の3教科全てG T Z「B 2」 < H27-2年のみ達成 > センター出願者100名 < H27-84名 > 各学年共に「指導計画」書に定められた指導を完了する(1・2年5単位時間、3年3単位時間) 	<p>1) ア・1/13に校内研究授業を行い、その後活発な研究協議会を実施した。教員参加率は(57名/63名)86%であった。今年度は「ICT活用」「アクティブラーニング」「グループワーク」を用いた授業について活発な意見が出た。次年度も研修を通して授業内容や授業方法の研究や改善に取組みたい。(△)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業アンケートでは「興味・関心を持った」83%、「知識技能が身に付いた」85%の満足度であった。次年度は両項目共に85%の満足度をめざす(△) イ・医療系大学の高大連携講座に(2年生のみ募集)13名が参加した。今後も一層高大の連携を深めていきたい。(△) (2)・「日本史研究」「国際理解」「保健」「社会と情報」等でプレゼンを実施。また英語スピーチを「英会話基礎」で実施した。今後も他の教科において自分の考えを伝える授業を増やしたい。(○) < 「コミュニケーション能力が身についた」79%、「自主性を伸ばせた」83% > (△) ・「看護基礎」を受講する3年生2名が「大阪府総合学科高等学校研究発表会」で看護実習についてのプレゼンを行った。また、地学部生徒が11月に開かれた「大阪府学生科学賞展」で10年間観察を続けてきた「酸性雨」について研究発表し、優秀賞を受賞した。(◎) (3) ア・昨年3/19より2泊3日で1、2年生の「勉強合宿」を実施し39名が参加した。また、7/28より3年次生の「進学合宿」を実施し51名が参加した。確保できる部屋数で宿泊人数が制限されるが、次年度は参加者の増をめざしたい。(△) < 「学習にがんばってきた」(1年60%、2年73%、3年86%)、「家庭学習においては2時間以上」(1年11%、2年21%、3年75%) > (△) ・校長マネジメント経費で、自習机を6台増やした。自習室、進路指導自習コーナー、看護系自習コーナーは、ほぼ毎日多数の生徒の活用がある。次年度もさらに活用者数を伸ばしたい。(○) (4) ア・一昨年度より「学力生活実態調査」の活用方法を改善し、教員団の再指導(リトライ指導)を行なっている。例年低下する平均G T Zは、2年第2回がB 3、1年第2回はB 2とやや下降した。次年度も指導を継続したい。(△) ・センター試験は出願前説明会に180名の参加者があったが担任との面談後、148名が出願、135名が受験した。(◎) (5) ア・「HR」「産業社会と人間」等を活用して政治的教養をはぐくむ取り組みを規定通り実施した。1年次は模擬投票なども実施し、選挙・公約や新聞記事に興味を持ったとの意見が出るなどの効果があった。(◎)
	(2) 自らの意見をまとめ、発表して、相手に自分の意思を伝える力の向上	<p>(2) 授業や集会において、自分の考えを発表したり他者の意見を聞いたりする機会を増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の中でプレゼンテーションの機会を増やす 校外の研究発表等に積極的に参加する 		
	(3) 自ら学ぶ意欲・姿勢の定着	<p>(3) ア 補習・講習を充実させる</p> <ul style="list-style-type: none"> 学年や教科が中心となり、補習・講習を行う 校外でのセミナーや模擬試験など、様々な学習行事に自ら参加する姿勢を育てる 「進学合宿」「勉強合宿」を充実させる 自習室や進路指導室の活用を促進する 		
	(4) 基礎学力の定着	<p>(4) ア 講習等で「学力生活実態調査」のやり直し(リトライ)を徹底し、国・数・英の基礎学力を定着させる</p>		
	(5) 政治的教養をはぐくむ	<p>(5) ア 各学年共に「HR」「授業」「産業社会と人間」等の時間において、外部機関と連携して充実した政治的教養をはぐくむ取組みを行う</p>		

府立堺東高等学校

<p>安全で安心な学校づくり</p>	<p>(1) 人権教育の推進 (2) 教員の人権意識の高揚 (3) 生徒の規範意識の醸成</p>	<p>(1) ア 「自立支援コース」生徒と一般生徒の授業交流の機会を増やす イ 子どもや保護者から配慮を求める意思表示があった場合は「合理的配慮」を行う ウ 堺支援学校との交流会を一層充実させる (2) ア 教職員の人権研修を充実させる イ 支援教育サポート校として他校を支援する ウ 教育相談体制を充実させる (3) ア 安全で安心な学習環境をつくる ・ネット上のいじめ等が発生しないように情報モラルを育成する ・集会やHRで交通ルール遵守の姿勢を育てる</p>	<p>・「自立支援コース」生徒と一般生徒の交流授業を5教科以上実施する<H27-4教科> ・不当な差別的取り扱いを生起させない ・夏の支援学校との交流会への参加者60名<H27-46名> ・教員の「学校教育自己診断」における人権教育関連の項目で、校内研修・参画度等の肯定率85%<H27-参加率78.6%> ・生徒向け「学校教育自己診断」の『生活指導上のルールを守っている』95%<H27-92%> ・携帯電話やネット上のトラブルを生起させない</p>	<p>(1) ア・芸術、社会、理科、福祉、保健、HRの授業で交流を行った。情報の授業でインタビュー記事や情報モラルについてのプレゼン作品を仕上げた(○)。 イ・希望する自立支援生徒に、ICT機器(タブレット型PC)の使用と縦書きプリントの配布などの配慮を行った。(◎) ウ・夏の堺支援学校訪問交流に生徒40名が参加した。今後も生徒会と連携して障がい理解を推進したい。(△) (2) ア・校内人権研修を2回実施した。8/24の「聴・視覚障がいについて」参加率(53名/67名)で79.1%、1/6の「児童養護施設の実態」参加率(62名/68名)で91.1%。両研修ともに講演後に活発な研究協議が行われた。(○)<教員向の校内研修・参画度等の肯定率85.0%>(○) イ・支援教育サポート校として他校からの相談件数が20校3件。その他高校だけでなく小中学校や市町村への研修講師依頼が12件、関係会議への参加が22回あり、積極的に支援を行うことができた。(◎) ウ・月に平均1回来校するスクールカウンセラーによる相談が17件、サポート室の教諭による相談もあり、教育相談体制は充実している。(○) (3) ア・年間3回全教員で、また毎日教員4名当番制で通学マナー、服装、頭髪の登下校指導を実施した。(◎)<生徒の「生活指導上のルールを守っている」92%>(△) ・集会、探求、HRや情報の授業で実施している「情報モラル」に関する指導により、携帯電話やネット上の大きなトラブルは、発生していない。(◎) ・集会やHRで生徒指導部より交通ルールの指導を行った。(○)</p>
<p>夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成</p>	<p>(1) キャリア教育の充実 (2) 部活動の充実と学校行事への積極的な参加 (3) 生徒の対外活動の活性化と地域連携</p>	<p>(1) ア 「キャリア教育」を充実させる ・生徒の進路実現に向けて「産社」「志学」「HR」「総合」の有機的な連携を図る ・「志学」において大学や専門学校への説明会等への積極的な参加を図る イ 保育所、病院、老人介護施設へのインターンシップの充実を図り、それぞれの職業への理解を深める (2) ア 体罰のない部活動指導を行い、充実した部活動運営を行う ・部活動の入部率を上げる ・地域の中学校との部活動交流を積極的に行う イ 「体育祭」「文化祭」「クラスマッチ」等、生徒が自主運営する学校行事を活性化する ・生徒会活動や各種学級委員会活動を充実させる (3) ア 地元の小中学校との交流を充実させる イ 堺市の観光協会や博物館が主催する行事に参加する「堺学」受講生徒を増やす ウ 地域のイベントに参加したり、ボランティア活動に参加する生徒を増やす</p>	<p>・「キャリア教育」に係るアンケートの満足度90%<H27-1年77%、2・3年87%> ・「大学訪問レポート」提出率100%<H27-1年99%、2年92%> ・保育所、病院、老人ホームへのインターンシップ参加者数のべ60名<H27-54名> ・体罰ゼロの継続 ・「近畿大会」以上へ出場するクラブを増やす<H27-1クラブ> ・部活動入部率80%<H27-75%> ・中学校との部活交流を行う部活動を増やす(3クラブ以上)<H27-2クラブ> ・「体育祭」「文化祭」に係るアンケートの満足度95%<H27-「体育祭」95%、「文化祭」92%> ・生徒の各種委員会を毎月1回以上行い、活動内容をHP等に掲載する ・小中学生との授業交流を前後期ともに1回以上行い交流を定着させる ・「堺学」の授業発表や堺市が主催する各種イベントへの参加を年間3回以上行い「学びの質」を高める<H27-4回> ・地域のボランティア活動への参加者数のべ150名<H27-124名></p>	<p>(1) ア・<「キャリア教育」に係る満足度83%(1年84%、2年78%、3年87%)>(△) ・生徒の進路実現に向けて、3年前期には企業について学ぶ「就職と人権」、1・2年では学問の系統や上級学校について学ぶ「模擬授業」「学部学科別がイッソ」「大学等見学」など、各学年において「産社」「志学」「HR」を活用して「キャリア教育」に取り組んだ。(○) ・2年生と1年生の希望者が大学や看護専門学校への見学会を実施した。レポート提出率は1年生98%、2年生100%であった(△) また1年生が「探求入門」として、大学のオープンキャンパス等に参加するという夏休みの「探求課題」は100%の生徒が参加し、全員がレポートを発表した。(◎) イ・7月に保育所7名、病院13名・老人ホーム13名と、計33名の生徒がインターンシップに、5月の病院見学会に14名の計47名が参加した。今後も参加を推進したい。(△) (2) ア・「安全で安心な学校生活アンケート」を7月と11月に実施し、今年度も「いじめ・体罰」が無いことを確認をした。(◎) ・部活動の加入率は75%であった。次年度も80%の入部率をめざす。(△) ・地域の中学校との交流として女子バスケットボール部が12月に12校を招いて本校主催の「ドルフィンカップ」を開催、またサッカー部も同じく11校を招いて本校主催の「堺東カップ」を開催、今年度は新たに男子バレー部も8校を招いて積極的に交流を行った。今後も継続したい。(◎) ・アーチェリー部女子団体が近畿大会に出場を果たした。(○) イ・「体育祭」95.2%、「文化祭」90.9%の満足度で、「文化祭」が昨年より若干低下した。これは暦の関係で舞台リハーサルまでの準備期間が例年より短かったからと考えられる。今後も生徒の自主性を尊重した学校行事の充実を図っていききたい。(△) ・月1回程度、図書委員会を行い「図書新聞『パピルス』」を、保健委員会を行い「保健だより」を発行した。他の学級・風紀・文化・体育等の各委員は、オープンスクール運営・文化祭・体育祭運営に協力し、各行事をホームページで紹介した。(○) (3) ア・「福祉基礎」「福祉援助技術(介護基礎)」選択生徒が地域の小学校を招いて車椅子体験、視覚障がい者体験を指導し、交流した。(◎) 冬の堺支援学校招待交流では、60名を招いて生徒会主体の全校歓迎会を実施し、その後、1年生が全クラスでのHR交流を行い、レクリエーション等で親睦を深めた。(○) イ・「堺大魚夜市」「堺市の観光ガイド」「堺学フィールドワーク」「総合学科研究大会展示」に参加し、地域との活発な交流・活動を行った。今後も「堺学」に関する学びを深める行事への参加を推進したい。(○) ウ・ボランティアでは、5月「緑のつどい」6名、7月「堺大魚夜市」24名、8月「地域夏祭」30名、9月「地域敬老会」4名、「堺観光ボランティア」16名、「FP0障がい者スポーツ大会」4名、11月「南区クリーンキャンペーン」1名、「保育園秋祭」16名、「府民レクフェスTBG大会」20名、合計121名が参加した。昨年より3名減であったが、地域から感謝の意を得た。来年度も積極的に参加を推進したい。(△)</p>

府立堺東高等学校

開かれた学校づくりの推進と情報の発信	<p>(1) ホームページの充実を図る</p> <p>(2) 学校説明会の充実</p>	<p>(1) ホームページを頻繁に更新し、学校情報を積極的に発信して在校生やその保護者、中学生やその保護者に必要な情報を提供する</p> <p>(2) ア 在校生が中心になり、体験的なオープンスクールを実施する イ 中学校や塾からの要請による「学校説明会」等に積極的に参加する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページへの年間アクセス数 85,000 件以上<H27-82,000 件> ・2回のオープンスクール参加生徒・保護者を合計 1,100 名以上<H27-1,071 名> ・中学校等からの「学校説明会」の依頼 20 件<H27-15 件> 	<p>(1)・ホームページには年間 84,000 件(1日当り平均 230 件)のアクセスがあった。在校生や保護者による行事日程等の確認をはじめ、中学生とその保護者によるオープンスクールのネット申込みまで活用度が高い。次年度も、より充実したホームページ作りに努めたい。(△)</p> <p>(2)ア・生徒による学校生活の紹介、クラブ体験など、オープンスクールを2回実施し、中学生 786 名、保護者等 272 名、計 1,058 名が参加した。1 回目は一部の中学校が台風による補充授業を行い、2 回目は雨模様の天候と重なり、昨年度より合計で 13 名減少した。(△) 参加した中学生の感想として、「分かりやすかった」「大体分かった」が 94.4%、「進路決定の参考になった」が 95.4%という回答を得た。(◎)</p> <p>イ・学校説明会の依頼は中学 5 校、市町等から 4 件、塾等から 4 件あり、合計 13 件全て参加した。他にも休日の中学生ミニ見学会を 12 回実施し、合計 236 名(平均 20 名)の参加申し込みがあった。次年度も積極的に情報発信していきたい。(△)</p>
--------------------	---	--	--	---